

久留米大学を受診した患者さんへ

「日本における骨髄腫関連疾患の予後に関する大規模多施設前向き観察研究」に使用する情報（診療情報）について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の情報を使用します。

- 1) 受診期間：平成 28 年 1 月 1 日以降
- 2) 受診科：血液・腫瘍内科
- 3) 対象疾患名：骨髄腫関連疾患（多発性骨髄腫、形質細胞腫など）
- 4) 使用する試料（情報）：診療記録、検査データ

あなたの診療情報を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申しあげます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承いただけますよう、お願い申しあげます。

- 1) 研究組織：所属：血液・腫瘍内科
研究代表者：教授 長藤 宏司
研究分担者：助教 大崎 浩一

2) 研究の意義と目的：多発性骨髄腫は高齢者に多い疾患であり、わが国においては高齢化を反映して年々患者数が増加しています。これまでは治療が困難な不治の病でしたが、近年疾患の研究が急速に進歩し、この 10 年で次々に効果の高い新薬が登場して治療成績が大きく向上しています。そこで、私たちはわが国における多発性骨髄腫の日常診療における治療実態や治療成績を把握し、疫学・治療成績に関するデータベースを作成し解析することで、骨髄腫関連疾患の治療成績・予後ならびに予後因子などを明らかにしたいと考えております。

3) 研究の方法：日本血液学会参加施設において、新規に診断された骨髄腫関連疾患患者の診断日、治療開始日、治療の効果などについて電子データ収集システムに入力します。集積されたデータは日本血液学会の中央データセンターにて解析されます。

4) 研究期間：倫理委員会承認後～平成 31 年 3 月

5) 上記（診療記録、検査データ）の使用を選定した理由：骨髄腫関連疾患の治療成績や予後因子を明らかにする上で、診断時期、診断された時の検査結果、治療内容や期間などの情報が非常に重要になります。このため、当院電子カルテに記載されている診療の記録や検査データが必要です。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：治療経過における診療記録と検査データなどを研究に使用させていただきます。診療情報の使用に際して個人情報には厳重に保護され、住所・氏名・電話番号・勤務先・通学先については取り扱いません。

7) 研究成果の発表の方法：この研究で得られた結果は研究終了から2年以内に学会発表や論文の形で公表されます。

8) 利益相反：本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

(研究責任者氏名) 長藤 宏司

(住所) 久留米大学病院 血液・腫瘍内科

(TEL) 0942-31-7852

(FAX) 0942-31-7854